

梱包材を大幅に削減し小型化が図れる 衝撃吸収小型包装材料技術

■ 概要

収納物を衝撃から守りつつ、包装箱の容積を小さくすることができる包装材料に関する技術です。

■ 特徴

〔従来技術の梱包形態〕

従来の梱包における問題点

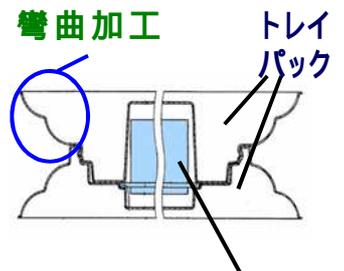
- 梱包の構成部材多し
- 組み込みに時間を有する
- 外形が大型化

ウレタン材等



〔実施例〕

合成樹脂のシート状成型トレイパックと収納箱の構成
トレイ上の突起と彎曲面加工、狭持收容、及び、収容箱で衝撃吸収

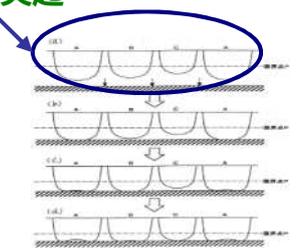
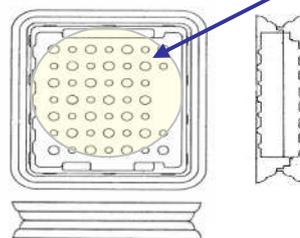


収容物を狭持

〔効果〕

- 部材費用の低減（30%低減）
- 包装サイズの縮小で梱包箱への収納率アップ（600%）
- 作業効率のアップ

外側へ向かう大きさが異なる突起



突起組みの作用効果

■ 応用分野

精密機械の包装体、ネット通販などの商品の包装体

■ ライセンス条件

特許第3937856号、米国特許第7093717号 通常実施権（非独占）

富士通株式会社

知的財産権本部 知的財産活用ビジネス統括部 ビジネス開発部

〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1 TEL : 044-754-3149

E-mail : contact-tec@cs.jp.fujitsu.com

URL : <http://jp.fujitsu.com/about/ip/disclosure/>

All Rights Reserved, Copyright ©富士通株式会社